

## 2023年11月のガス料金について

2023年9月28日

蒲原ガス株式会社

当社は、2023年11月検針分に適用する従量料金単価を、1m<sup>3</sup>あたり下表のとおり調整いたします（詳細は別紙参照）。

今回のガス料金の調整は、2023年6月～2023年8月のLNG（液化天然ガス）平均価格（貿易統計値）により算定された平均原料価格に基づくものです。

また、電気・ガス価格激変緩和対策事業（※）の政府支援を踏まえ、原料費調整後の単価から1m<sup>3</sup>あたり15円（税込）の値引きを実施しています。

※詳細は資源エネルギー庁の「電気・ガス価格激変緩和対策事業特設サイト」をご覧ください。  
(<https://denkigas-gekihenkanwa.go.jp/general/>)

2023年10月検針分からの調整額	△0.32円/m <sup>3</sup> （税込）
-------------------	----------------------------

月間のガスご使用量が47m<sup>3</sup>の標準的なご家庭では、2023年10月適用料金と比べて、1か月あたり15円（税込）の引き下げとなります。

なお、2023年11月検針分に適用する料金につきましては、当社の本社店頭での掲示や、検針時に各戸にお届けする「ガスご使用量等のお知らせ」等で、あらかじめお知らせいたします。

以上

<お問い合わせ先>

蒲原ガス株式会社

総務部 総務課 担当 小杉

TEL 0256-72-3337

<別紙>

## 料金表（2023年11月）

### ●一般ガス供給約款料金

（各月のご使用量に応じてA・B・Cいずれかの料金表が適用されます）

2023年10月検針分に適用される従量料金単価と比較した場合、1m<sup>3</sup>あたり0.32円（税込）の引き下げとなります。

なお、従量料金単価には、電気・ガス価格激変緩和対策事業の政府支援を踏まえた1m<sup>3</sup>あたり15円（税込）の値引きが反映されております。

また、基本料金は変わりません。

（税込）

2023年10月検針分からの調整額	基準従量料金単価との差額 （値引き反映後）
△0.32円/m <sup>3</sup>	△42.50円/m <sup>3</sup>

### 【一般ガス供給約款料金表】

（税込）

	1か月のご使用量 （適用区分）	基本料金 （1か月あたり）	従量料金単価（1m <sup>3</sup> あたり）	
			2023年11月検針分	（基準従量料金）
料金表A	0m <sup>3</sup> ~ 25m <sup>3</sup>	660.00 円	135.25 円	177.75 円
料金表B	26m <sup>3</sup> ~ 250m <sup>3</sup>	924.00 円	124.69 円	167.19 円
料金表C	251m <sup>3</sup> ~	2,123.00 円	119.90 円	162.40 円

ガス料金は、検針日の翌日から20日以内（早收料金適用期間）にお支払いいただく場合には、早收料金となります。早收料金適用期間を過ぎてお支払いいただく場合には、遅收料金（早收料金を3%割り増しした金額）となります。

### 【ガス料金の計算式】

早收料金 = 基本料金（税込） + 従量料金単価（税込） × ご使用量

消費税等相当額 = ガス料金 × 消費税率 ÷ （1 + 消費税率）

（上記計算の結果、1円未満の端数が生じた場合は端数を切り捨てます）

## 標準家庭における影響

（税込）

1か月のご使用量	2023年11月 適用料金	2023年10月 適用料金	増減額	増減率
47 m <sup>3</sup>	6,784 円/月	6,799 円/月	△15円/月	△0.22%

※標準家庭のガスご使用量は、当社におけるご家庭1件・1ヵ月あたり平均（2016年～2020年度の5年間平均）に基づいております。

## 平均原料価格と調整単位料金の算定について

	2023年6月～ 8月原料価格	2023年5月～ 7月原料価格	基準平均原料価格
LNG平均価格 (貿易統計値)	88,170 円/t	88,550 円/t	123,030 円/t
平均原料価格	89,210 円/t	89,590 円/t	124,480 円/t

### ■ 平均原料価格の算定

$$\begin{aligned}
 \text{平均原料価格} &= \text{LNG平均価格 (2023年6月～2023年8月貿易統計値)} \times 1.0118 \\
 &= 88,170 \text{円/t} \times 1.0118 \\
 &= 89,210.406 \text{円/t} \\
 &\quad \downarrow \text{(10円未満四捨五入)} \\
 &= 89,210 \text{円/t}
 \end{aligned}$$

### ■ 原料価格変動額の算定

$$\begin{aligned}
 \text{原料価格変動額} &= \text{平均原料価格} - \text{基準平均原料価格} \\
 &= 89,210 \text{円/t} - 124,480 \text{円/t} \\
 &= \Delta 35,270 \text{円/t} \\
 &\quad \downarrow \text{(100円未満切り捨て)} \\
 &= \Delta 35,200 \text{円/t}
 \end{aligned}$$

### ■ 調整額 (1m<sup>3</sup>あたり) の算定 (平均原料価格が基準平均原料価格未満のとき)

$$\begin{aligned}
 \text{調整額 (値引き反映前)} &= \text{原料価格変動額} / 100 \text{円} \times 0.071 \text{円} \times (1 + \text{消費税率}) \\
 &= \Delta 35,200 \text{円} / 100 \text{円} \times 0.071 \text{円} \times 1.10 \\
 &= \Delta 27.4912 \text{円} \\
 &\quad \downarrow \text{(小数点第3位以下の端数切り上げ)} \\
 &= \Delta 27.50 \text{円}
 \end{aligned}$$

※ 原料価格変動額100円につき従量料金単価を1m<sup>3</sup>あたり0.0781円 (0.071円に1.10 (1+消費税率) を乗じた値) 調整します。

$$\begin{aligned}
 \text{政府支援を踏まえた調整額} &= \Delta 27.50 \text{円/m}^3 - 15.00 \text{円/m}^3 \\
 &= \Delta 42.50 \text{円/m}^3
 \end{aligned}$$

上記計算の結果、

- 基準従量料金単価に対し、1m<sup>3</sup>あたりΔ42.50円 (税込) 調整します。
- 2023年10月検針分に適用される従量料金単価と比較した場合、1m<sup>3</sup>あたり0.32円 (税込) の引き下げとなります。